

高血圧症・狭心症治療薬／持続性Ca拮抗薬

劇薬、処方箋医薬品※ ※注意—医師等の処方箋により使用すること

日本薬局方 アムロジピンベシル酸塩錠

**アムロジピン錠 2.5mg「DSEP」**  
**アムロジピン錠 5mg「DSEP」**  
**アムロジピン錠 10mg「DSEP」**

AMLODIPINE TABLETS「DSEP」

先発医薬品名：アムロジン®錠2.5mg/錠5mg/錠10mg[住友ファーマ]  
 ノルバスク®錠2.5mg/錠5mg/錠10mg[ヴィアトリス製薬]

日本標準商品分類番号 872171

薬価基準収載

## 医療事故防止への取り組み

表示を「より見易く」「より判り易く」工夫しました。

### 1 PTPシートの工夫

#### 1錠毎のGS1データバー

薬剤取り違い防止の負担を軽減する目的でPTPシートの裏面にGS1データバーを表示しています。(PTPシートの印刷色は先発製品の配色を踏襲)

#### ピッチコントロール(定位置印刷)

ピッチコントロールを行うことにより、「製品名」「有効成分の含量」「DSEP」の表示を識別しやすくしています。

### 2 錠剤の工夫

#### 両面レーザー印刷

「製品名」「有効成分の含量」「DSEP」を両面レーザー印刷し、判別しやすくしています。

#### 分割(割線)

錠5mg、錠10mgは割線により分割が可能です。

### 3 個装箱の工夫

#### 変動情報入りGS1データバー

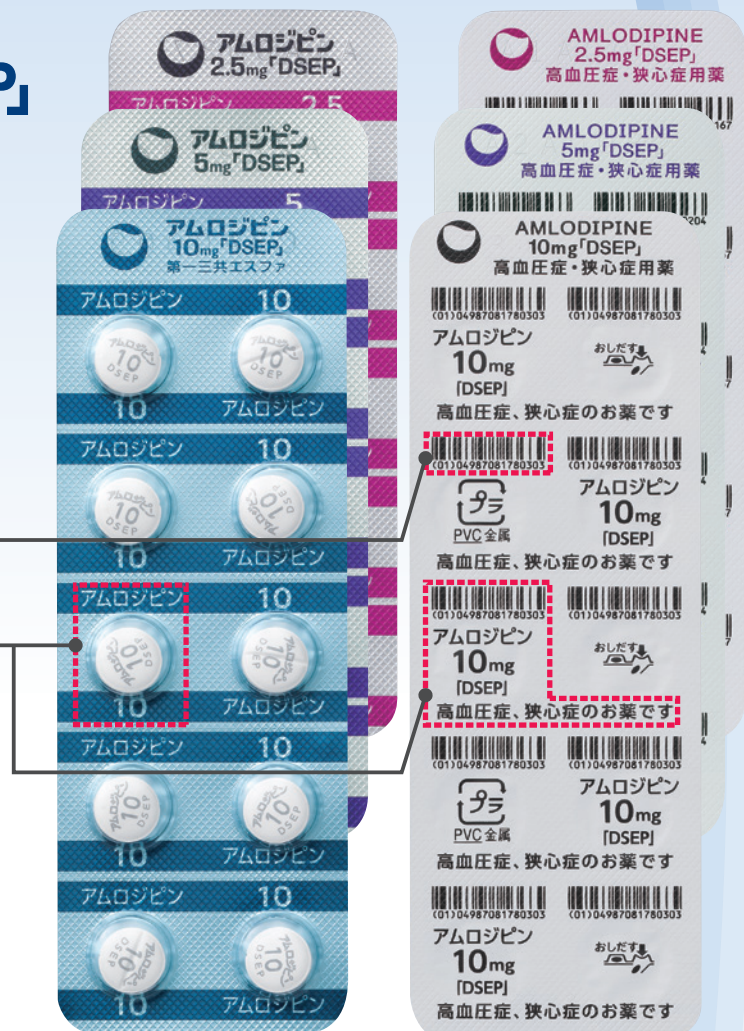
「使用期限」「製造番号」情報が入った、GS1データバーを表示しています。

#### 製品情報カード

切り離し可能な製品情報カード(製品名、製造番号、使用期限、GS1データバー)を薬剤棚等、残シート管理にご活用いただくことができます。

#### 錠剤イメージ

開封前に錠剤の外観をご確認いただくことができます。



錠2.5mg (PTP:10錠シート)L:96mm×W:38mm

(PTP:14錠シート)L:130mm×W:38mm

錠10mg (PTP:10錠シート)L:108mm×W:38mm

錠5mg (PTP:10錠シート)L:96mm×W:38mm

(PTP:14錠シート)L:130mm×W:38mm



●錠剤・PTPシートは実物大です。

最新の電子化された添付文書(電子添文)は専用アプリ「添文ナビ」よりGS1データバーを読み取りの上、ご参照下さい。

(01)14987081181060

**【禁忌】(次の患者には投与しないこと)**  
 ジヒドロピリジン系化合物に対し過敏症の既往歴のある患者

(一般名／アムロジピンベシル酸塩)

禁忌 ※【禁忌】（次の患者には投与しないこと）  
ジヒドロピリジン系化合物に対し過敏症の既往歴のある患者

用法・用量	成人の場合 ・高血圧症 通常、成人にはアムロジピンとして2.5～5mgを1日1回経口投与する。なお、症状に応じ適宜増減するが、効果不十分な場合には1日1回10mgまで増量することができる。 ・狭心症 通常、成人にはアムロジピンとして5mgを1日1回経口投与する。なお、症状に応じ適宜増減する。	〈用法・用量に関連する使用上の注意〉 [アムロジピン錠2.5mg「DSEP」、アムロジピン錠5mg「DSEP」] 6歳以上の小児への投与に際しては、1日5mgを超えないこと。
	小児の場合 [アムロジピン錠2.5mg「DSEP」、アムロジピン錠5mg「DSEP」] ・高血圧症 通常、6歳以上の小児には、アムロジピンとして2.5mgを1日1回経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。	

2. 重要な基本的注意  
(1) 降圧作用に基づくめまい等があらわれることがあるので、降圧作用によるめまい等の症状があらわれる場合には投与を中止すること。

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
降圧作用を有する薬剤	相互に作用を増強するおそれがある。慎重に観察を行うなど注意（併用禁忌）	相互に作用を増強するおそれがある。

	CYP3A4誘導剤 リファンピシン	本剤の血中濃度が低下するおそれがある。	本剤の代謝が促進される可能性が考えられる。		頻度不明	
	等			肝臓	ALT(GPT)上昇、AST(GOT)上昇、肝機能障害、ALP上昇、LDH上昇、γ-GTP上昇、黄疸、腹水	
	グレブフルーツ ジュース	本剤の降圧作用が増強されるおそれがある。同時服用をしないように注意すること。	グレブフルーツに含まれる成分が本剤の代謝を阻害し、本剤の血中濃度が上昇	循環器	浮腫 <sup>(3)</sup> 、はてり(熱感、顔面潮紅等)、動悸、心拍低下、胸痛、期外収縮、洞房又は心房ブロック、停搏止、心房細動、失神、頻脈、徐脈	
				精神神経系	眩暈・ふらつき、頭痛、頭重、眠気、振戦、末梢神経障害、	

処置：心・呼吸機能モニターを行い、頻回に血圧を測定する。著しい血圧低下が認められる場合は、四肢の挙上、輸液の投与等、心血管系に対する処置を行う。  
症状が改善しない場合は、循環血液量及び尿排量に注意しながら昇圧剤の投与を考慮する。本剤は蛋白結合率が高いため、透析による除去は有効ではない。また、本剤過量投与時の吸収抑制処置として活性炭投与が有効であると報告されている。

や不整脈(心室性頻拍を含む)がみられたとの報告がある。

包装	アムロジピン錠2.5mg「DSEP」	(PTP) 100錠	700錠 (14錠×50)	1,000錠	(バラ) 500錠	アムロジピン錠10mg「DSEP」	(PTP) 100錠
	アムロジピン錠5 mg「DSEP」	(PTP) 100錠	700錠 (14錠×50)	1,000錠	(バラ) 500錠		

\*\* 2022年12月改訂(第19版)  
\* 2017年5月改訂

販売提携

2022年12月作成